

## 地域社会との緊密な連携を築く

# 地域とともに子どもの成長を支援するPTA活動

春日井市立高蔵寺中学校PTA

### 1 はじめに

本校は、昭和22年に開校した中学校である。春日井市東部に位置し、JR中央本線・高蔵寺駅からほど近い立地である。市内2つの小学校区から成り立っている。また、若干名ではあるが、定光寺地区（瀬戸市）から電車で通学する生徒もいる。令和4年度は、全校生徒796名、26学級（うち特別支援学級3学級）、PTA会員数775名（うち教員55名）でスタートした。保護者の中には本校の卒業生も多く、学校の教育活動にも大変協力的な地域であり、落ち着いた雰囲気醸成している。



【正門から見た学校】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

生徒の健全な育成のためには、学校・家庭・地域が連携し、生徒一人ひとりを見守り、教育活動を推進することが重要である。そこで、これまで以上に学校・家庭・地域が協力し、幅広い年代の人が生徒とかかわり合いながら、見守り等の支援を通じて、将来地域を支えていく生徒の育成を目指すこととした。

#### (2) 本校PTAの概要

PTAの組織は、役員7名と地区委員60名で構成されている。地区委員60名は、生徒の入学時に、居住地区ごとの地区委員を3年間分（生徒が1～3年時の各年度分）選出し、年度ごとの地区委員が、6つの委員会のいずれかに所属して、活動している。

#### (3) 各委員会の主な活動

- 財務…資源回収、学用品バザーの運営
- 母親・・・ブロック2小学校との研修会や講演会
- 厚生・・・給食試食会、学習会の運営
- 補導・・・交通安全立哨指導、祭りの夜間パトロール
- 広報・・・PTA新聞の発行
- ふれあいセミナー・・・ふれあいセミナー企画・運営

### 3 研究の概要

#### (1) コロナ禍での新たな取組

##### ① P T A新聞

毎年2回発行しているP T A新聞「はなびし」について、過去2年間は経費節減も兼ねて、校内で印刷してきた。令和4年度は、広報委員会で検討して、ペーパーレス化推進を目指し、Googleサイトを利用して発行することとした。

これは、用紙代の節約や印刷の手間の削減以外にも、様々なメリットを考慮した結果である。紙媒体の場合は紙面に限りがあり、掲載できる記事に限界があった。部活紹介では2つの部活を順番に紹介してきたため、在籍期間に所属部活が紹介されないことが多々あったが、今までより多くの部活を紹介することができた。

レイアウトの自由な変更や編集が容易であることから、突然の原稿差替えや、誤字が見つかった際の編集にも対応できる。また、生徒を経由せず、保護者に直接送信できたことも、保護者から感謝の言葉が多く寄せられた。

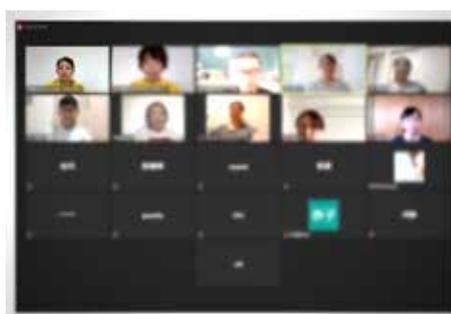


【パソコン画面での新聞】

##### ② ふれあいセミナーのZOOM開催

春日井市が、家庭教育力及び地域教育力の向上に資するため、社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育むことを目的に、講座等の事業を実施するふれあい教育セミナー。

例年、校内で集合した形式で開催してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、これらの活動の一切を実施できなかった。そこで、令和3年度を迎えるにあたって、コロナ禍でも開催できる方法をP T A役員で模索・検討した。その結果が、ZOOMを利用しての開催である。新たな取組に挑むにあたって「円滑に実施できるか」「参加者が少なくなるのではないか」等々、不



【セミナーの様子】

安な点もあったが、事前にリハーサルを実施して、不安の軽減に努めての挑戦であった。

地元NPO法人等から講師をお招きし、異なるテーマでの学習会を3回（学期に1回ずつ）実施することができた。参加者の中には初めてZOOMを利用した方も散見され、戸惑う様子も見られたものの、事後の感想では、今回の開催方法は移動時間が必要ないためありがたかったという、好意的な感想が多く寄せられた。

## (2) 継続的に実施している取組

### ① 三校一斉見守り運動

不審者や変質者から下校途中の子どもたちを守るために、平成18年度から始まった三校一斉見守り運動。校区内2つの小学校PTAと合同で、年に4回（1学期終業式～3学期始業式）実施している。地健連（高蔵寺中学校地区児童生徒健全育成連絡協議会）とも連携して実施



【三校一斉見守り運動】

する本取組では、事前に地域に案内文書の回覧をして、始業式・終業式の下校時に、保護者・地域が協力して児童生徒の様子を見守り、声を掛けてくださっている。事後には、参加者にアンケートで回答いただき、気になった点や危険個所を共有して、事後の指導に反映させている。見守り運動のなかでも、保護者と地域の方が、コミュニケーションをとる点でも貴重な取組である。

### ② 学用品バザー

財務委員会が企画・運営している本取組では、卒業生の家庭を中心に提供いただいた学用品（制服・体操服・体育館シューズ・コート等）を校内に保管し、これらを販売できる状態に整え、授業参観と同じ日に開催し、多くの収益を上げている。毎年、数多くの保護者が開始時刻前から長蛇の列を作るほどの盛況ぶりで、貴重な財源になっている。



【学用品バザー】

令和2年度は、コロナ禍で開催できなかったためこれを惜しむ声や、令和3年度で開催を知り喜ぶ声が、多く聞かれた取組である。

### ③ 資源回収

こちらにも、財務委員会の企画・運営で、教職員・生徒が活動してきた。生徒は協力して、自分の住んでいる地域を回って回収作業を行う。事前に案内を配付することで、地域住民にも協力をいただけてきた。本校の回収日に合わせて多くの資源を準備してくださる家庭もある。生徒は、多くの資源が回収できたことで、達成感を味わえ、意欲的に取り組む姿が数多く見られる。チラシ配付から回収まで実施することで、地域との連携・協力を実感できる貴重な行事である。収益金は、生徒のためになるよう有効に活用している。



【資源回収】



【協力して活動する様子】

### ④ 給食試食会

厚生委員会による給食試食会では、食の大切さや学校給食への理解を深める目的で、保護者に学校で給食を食べていただくと共に、栄養教諭の講話を聞く会を行ってきた。コロナ禍では、給食試食会は中止し、栄養教諭の講話を動画閲覧サイトで視聴し、感想を共有する取組を実施した。事後の感想から、保護者がアレルギー対応や栄養のバランスなどについて知識を深めることができた様子が伺えた。



【栄養教諭講話動画配信】

## 4 終わりに

新型コロナウイルス感染症への対応で、令和2年度はPTA活動をほとんど行うことができなかった。本実践のなかには、令和2年度までの内容も多く含まれている。その後は、常に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、可能な取り組みを模索しながら家庭教育力の強化・地域との連携強化に努めてきた。拙い実践ではあるが、学校が本来の姿を取り戻しても、今年度挑戦した取組を可能な範囲で継続し、より多くの人に参加しやすいPTA活動となり、地域とのさらなる連携の一助へとつなげていきたい。